



浅口清掃センター社員の草刈後の回収作業



浅口市スポーツ少年団の草刈後の回収作業



アツケシソウ通信

第13号

令和5年11月



C地区の紅葉したアツケシソウと青佐山を望む



“緑のアツケシソウを楽しむ会”で訪れた見学者



A地区のアツケシソウを見渡す見学者



C地区の景観に見入る見学者

「アッケシソウ通信」第十三号に よせて

浅口市長 栗山 康彦

アッケシソウ通信第十三号のご発刊、誠にありがとうございます。皆様方におかれましては、平素より市行政に多大なるご理解とご協力を賜わり、心よりお礼申し上げます。

平成十五年にアッケシソウの群生地が発見され、二十年が経ちました。その間、貴会を中心としたボランティアの皆様、熱心な保護活動により、現在も美しい状態が保たれています。また、地元の子どもたちにアッケシソウについての教育を行うなど、若い世代にアッケシソウの魅力を伝える取り組みも行われ、多くの方に「寄島のアッケシソウ」といえば紅く色づく美しい景色を想い浮かべていただくことができております。これも貴会が長年にわたって保護活動に取り組んでこられた賜であり、心より感謝申し上げます。

昨年十月には、本市が地域ぐるみで行うアッケシソウの保護活動を視察するため、名前の由来となった北海道厚岸町の議員の皆様が視察に来られました。市として、これを機にアッケシソウを通じて友好関係を厚岸町と築きたいと考えており、先日私も厚岸町を表敬訪問し、町長、議長を始め関係者と意見交換を行いました。今後も自治体間交流の推進や情報交換を行い、相互にアッケシソウの魅力を高めていくことができるよう努めます。

てまいります。

結びに、花を咲かせ、色づき、日々私たちを楽しませてくれるアッケシソウが今後ますますに多くの方に愛でられますとともに、貴会皆様方が健康に留意され、ますます充実したご活動を送られますことを祈念し、ご挨拶いたします。

令和四年の活動を省みて

会長 藤沢 福夫

令和四年もコロナ禍の為、アッケシソウ祭りは、残念ながら中止をせざるを得なくなり、紅葉のアッケシソウ一般公開という形でガイドなしで開催しました。

見学者の皆様が案内、ガイドが出来ないのは残念でしたが、嬉しい事が二件ありました。

十月十八日に、長野県豊岡村から村議会の方々が環境保護の一環として、アッケシソウ自生地を訪れました。

十月二十五日には、アッケシソウの名前の由来である北海道厚岸町より、町議会の皆様、アッケシソウ再生の研究の為に来られました。

また地元浅口市寄島町の子供の為に多額な寄付をお寄せ頂いた住吉満氏が十月に自生地を見学に来られ、「今後も保護活動に精を出して下さい」との言葉をいただきました。令和五年の秋にはアッケシソウ祭りで皆様をお迎えできるよう、頑張りたいと思います。

四国のアッケシソウを訪ねて

顧問 花房 泰志

星野先生のアッケシソウDNAに関する研究は、北海道とは異なる瀬戸内のアッケシソウの存在が提唱されました。巷では「らんまん」が話題となっています。瀬戸内のアッケシソウは、牧野富太郎博士から大正二（一九一三）年に、愛媛県新居浜市多喜浜で自生することが報告されました。四国では、その他、徳島県鳴門市、香川県高松市、坂出市、三豊市の塩田跡での自生が過去に確認されています。現在多くは、塩田跡地や海岸部の開発等で消滅しています。



新居浜市垣生地区

今夏に私は、瀬戸内海南岸におけるアッケシソウの現況調査の機会に恵まれました。調査地は新居浜市垣生（はぶ）地区と阿島地区、三豊市詫間町、坂出市王越地区であります。



新居浜市阿島地区

新居浜市の多喜浜塩田は、昭和三十四年に廃田となり、現在では埋立地となっています。牧野博士の見た光景は、無くなっています。アッケシソウは現在、多喜浜塩田跡地から一キロ北側のマリンパーク新居浜の一角に移植されています。コンクリート擁壁で囲繞された約九〇㎡で生育しています。海水は、大潮時の満潮時にパイプを通じて供給される構造となっています。寄島のアッケシソウと比較すると、茎が細い印象を持ちました。新居浜市阿島地区は阿島川河口の東岸に位置しています。ここは、市が天然記念物に指定しており、報道等で目にする機会がありました。個人が管理され、満潮時に遡流する海水を、約一六〇㎡の保護地区に流入する仕組みであります。管理者の他界に伴い、ここ二年はアッケシソウは生育していない状況でありました。種子は、地元公民館で保存されています。



三豊市詫間地区

三豊市詫間町の詫間塩田は、県内最大の規模でありました。廃田と工場建設に伴い、現在地に移植されています。現在は、丸一鋼管株式会社の敷地内の唐島南側裾約三二〇㎡で生育しています。アツケシソウは、三豊市が市天然記念物に指定しています。海水は、常に瀬戸内海から構内貯水池に導入され、朝晩ポンプアップすることで生育地に海水を供給する構造であります。また、生育地は地盤改良され、地下には配水管が縦横無尽に設置されています。

坂出市王越地区木沢塩田跡地は、現在立入りが制限されています。関係者によると、秋には紅葉したアツケシソウを見ることができるとの話であります。

調査によれば、瀬戸内海南岸のアツケシソウは、王越地区以外は自生地ではなく、人工的な生育地になっています。生育地のアツケシソウは、砂地の畑となり、背丈が同一となる特徴がありました。

他地域を概観しましたが、自然界に自生するアツケシソウの貴重性を再認識した一日となりました。

最後に、当日案内いただきました新居浜市文化振興課の青野祥之様、丸一鋼管株式会社詫間工場の伊藤圭司様に御礼申し上げます。

D地区「入口周辺」の整備

D地区は草刈り等の整備を行わず、アツケシソウの経過観察をしている地区です。

以前は、入口も分からないほど草木が生い茂っていました。二年前から草刈りをおこなっており、今年も守る会数人で草刈りを実施しました。久しぶりに見るアツケシソウの元気に生育している情景に気持ちが和らぐのを覚えました。

今後、D地区入口周辺の草刈りを行い、アツケシソウの生育状況等の観察を続けて行きたいと思っています。



活動支援金の紹介

今年度も笠岡東ロータリークラブ長舗会長から、活動支援金を賜りました。長舗会長より「寄島町の貴重な財産であるアツケシソウを末長く守っていただき、後世に伝えていかれることを願っています。我々クラブも二〇一二年から支援を継続してきました。

今後、アツケシソウを守る会の皆さんの努力でこの状態を守っていただけるものと思っています」との励ましの言葉をいただきました。

心から御礼を申し上げます。



『守る会』研修旅行

中西 富子

好天に恵まれた六月四日(日)、会員十四名で、岡山県立森林公園へ向かいました。

途中、道の駅「奥津峡」で昼食バイキングをいただき、(お代わりをしつかりして)みんなパワーアップされていました。

予定通り、十二時過ぎに森林公園に到着。昭和五十年に開園した『岡山県立森林公園』は、奥津地域と上斎原地域にまたがる森林で、鳥取県との県境に位置



ています。標高は、八四〇m〜一、一〇〇m。広さは、三三四ヘクタールです。

バスから降りた私達は、バイケイソウ・ナツツバキ・マユミ等を鑑賞したり清流のせせらぎや野鳥の鳴き声に癒やされたりしながら、ゆつくりゆつくりと各自の体力に合わせて、北展望台と南展望台に登って行きました。

二時間の公園探索は、あっという間に終わり、朱色鮮やかなレンゲツツジに見送られながら、心身ともにリフレッシュして帰路につきました。

帰る途中「道の駅久米の里」に立寄り「モビルスーツ(ガンダム)の巨大人型ロボット」の大きさにびっくり!

研修と親睦を深めることができ、楽しい一日となりました。

「企業等賛助会員」

アッケシソウを守る会の活動資金充足のため、今年度も企業賛助会員をお願い致しました。そして三十四の企業・病院・金融機関・商店等からのご協力をいただきました。心から感謝と御礼を申し上げます。(アイウエオ順列記)

アキタ帽子幙	アキタ帽子幙
荒川電気工業所	荒川電気工業所
荒川モーターサービス	荒川モーターサービス
池田歯科医院	池田歯科医院
幙一力興業	幙一力興業
印刷のよこやま	印刷のよこやま
垣内フォトスタジオ	垣内フォトスタジオ
笠岡信用組合	笠岡信用組合
寄島支店	寄島支店
幙カネシン	幙カネシン
幙川崎商会	幙川崎商会
幙吉川隆泉堂	幙吉川隆泉堂
金光病院	金光病院
斎藤教材幙	斎藤教材幙
斎藤産業幙	斎藤産業幙
J A 晴れの国	J A 晴れの国
岡山寄島支店	岡山寄島支店
しろやま歯科クリニック	しろやま歯科クリニック
幙管呉服店	幙管呉服店
すくすくこどもクリニック	すくすくこどもクリニック
幙西備サービス	幙西備サービス
セイブスポーツ	セイブスポーツ
幙妹尾溶接	幙妹尾溶接
セノー幙	セノー幙
高山医院	高山医院
中央ガス幙	中央ガス幙
中備化工幙	中備化工幙
ドレンシー幙	ドレンシー幙
幙ニツペコ	幙ニツペコ
幙美星ミート	幙美星ミート
医療法人 福嶋医院	医療法人 福嶋医院
幙ミヤケ建設	幙ミヤケ建設
医療法人 みわ記念病院	医療法人 みわ記念病院
幙めぐみ	幙めぐみ
山下農機商会	山下農機商会
医療法人 よりしま中西医院	医療法人 よりしま中西医院

「C地区の風景が変わる」

アッケシソウ自生地C地区の北側に雑木林が隣接していますが、これまでアッケシソウが発見されてから手入をしていって覆い繁っていました。

その雑木林を四年前頃から、浅口市教育委員会がC地区の景観をより一層引き立たせるため、全ての雑木林の枝を整備(枝打ち等)して、アッケシソウ・雑木林・遊水池・そして西方向に見る青佐山を眺めて楽しめる場所として環境整備を



整備前の雑木林



整備後の雑木林



行いました。整備を終えたC地区を見渡すと、今までとは違った素晴らしい風景に様変わりしています。C地区はアッケシソウ祭り・一般公開等、特別な時でしか見学出来ませんが、メインイベント時には、ぜひともお立ち寄り下さい。

「アッケシソウを守る会」からのお願い

今年の夏は、今までにない異常気象(猛暑)を経験しました。

その様な厳しい暑さの中で、守る会は、浅口清掃センター社員、おかやま山陽高等学校サッカー部員、浅口市スポーツ少年団の子供達の助力のもと、彼らの元気な声・軽快な動きに励まされ、元気をもらいながら草刈をしました。

我々、守る会は減少していく作業会員・賛助会員が少しでも入会して頂ける事を心から願っています。

是非、寄島町ふれあい交流館「サンパレア」事務室にお越し頂き、ご入会して頂ける事を願っています。

編集後記

九月九日、緑のアッケシソウを楽しむ会」が三年ぶりに開催されました。約三十人の見学者が訪れて、熱心に小さな白い花に見入っていました。

また十月十四日(二十三日、「アッケシソウまつり」を開催する事が出来ました。多くの見学者が訪れてA・B・C地区の紅く色づいたアッケシソウそして景観に満足している様子がうかがえました。会員は、久しぶりに見学者の皆様をお迎えし、ご案内することが出来ました事を有り難く感謝しています。